

君津地方特別支援教育自主研修会 しゃべりば

I はじめに

君津地方の特別支援学級・特別支援学校も多様化、増加傾向が続いています。ここ数年、特別支援学級担任の約半数は特別支援学級担任としての経験が5年以下であり、講師の割合は20%台で推移し、25%に迫る勢いです。君津地方特別支援教育研究連盟も、4市の市研や君研とも連携して、会員の専門性向上につながる活動を推進しています。そこで、令和4年度から、君津地方特別支援教育研究連盟の理事が中心となり、「君津地方特別支援教育自主研修会 しゃべりば」を、企画・運営し開催しています。

「君津地方特別支援教育自主研修会 しゃべりば」は、君津地方4市の各学校72校と学区の特別支援学校2校を対象に、特別支援学級等を担任している先生方や特別支援教育に関心のある先生方(講師等を含む)を対象に、特別支援教育についての研修や日々の実践についての情報交換やお悩み相談の場「君津地方特別支援教育自主研修会 しゃべりば」として開催しています。

そして、「君津地方特別支援教育自主研修会 しゃべりば」を通して、特別支援の楽しさややりがいを感じて、これからもがんばろうと思える機会のひとつとしたいと考え、令和4年度から取り組んでいます。今年度は、全日本特別支援教育研究連盟の助成を受け、取り組みました。

「君津地方特別支援教育自主研修会 しゃべりば」の開催案内を、君津地方4市の各学校72校と学区の特別支援学校2校に配付し、研修会開催ごとに参加者を広く募っています。そして、研修会や研修内容が広まるように、参加者だけでなく各校に研修会のレポートを配付し、校内で回覧してもらうようにしています。

II 活動の実際

特別支援学級を担任している先生方や特別支援教育に関心のある先生方(講師等を含む)を対象に、特別支援教育についての研修や日々の実践についての情報交換やお悩み相談の場「君津地方特別支援教育自主研修会 しゃべりば」を5回開催しました。

回	月 日	テ ー マ	会 場
①	5 / 11	「特別支援学級の教育課程をたててみよう」	君津教育会館
②	7 / 4	「個別の指導計画をたててみよう」	君津教育会館
③	9 / 26	「生活単元学習の実践交流会」	君津教育会館
④	12 / 8	「授業で使える教材作りーバスボム作りー」	S小学校
⑤	2 / 22	「学年末の引き継ぎ」 インフルエンザ感染拡大予防のため書面開催	書面開催

特別支援学級を担任している先生方や特別支援教育に関心のある先生方(講師等を含む)や講師の方だけでなく、スクールカウンセラーや特別支援学校の先生や教頭先生が参加してくださった回もありました。勤務時間外の自主研修会のため参加者が多くないため、広く内容が伝わるように、しゃべりば終了後に4市72校と2校の県立特別支援学校に資料、レジメを配付し、全校で回覧してもらいました。

Ⅲ 活動の様子

令和5年度 第3回 シャベリば（令和5年9月26日開催）報告

テーマ：生活単元学習の実践紹介 & 授業で使える・作れる教材（作品）第1弾

前半は、「南房総の風（R5第22号）」の授業実践で紹介された生活単元学習『コーン販売会を成功させよう』の実践を紹介していただきました。後半は、授業で使える・作れる教材（バザー単元等で作れそうな作品）の紹介をしていただき、作品づくりを体験しました。簡単に、内容を報告します。

1 生活単元学習『ポップコーン販売会を成功させよう』の実践紹介

*千葉県教育庁南房総教育事務所「南房総の風（R5第22号）」の授業実践で紹介されていますので参照してください。（「南房総の風 バックナンバー」で検索→学力向上→教職経験10年未満の先生方による授業実践の中にあります）

◇「自立活動」「生活」「算数」を合わせた単元で、ポップコーン（種）の販売会のいろいろな準備をし、先生方をお客さんに販売会をしました。できるだけ自分たちでできるようにするための手立てとして、ICTも活用しています。

◇学習を展開する上で気をつけたこと・工夫したこと

主な学習活動

- ①販売する商品（トウモロコシの種）の用意
- ②ポップコーンの作り方を調べ、模造紙やチラシにまとめる。
- ③スーパーに行って、買い物をする。
- ④ポップコーンを実際に作り、商品にする。
- ⑤販売会で行う役割（呼び込み役、レジ打ち役）の練習をし、校内で販売する。

◇ポップコーン（種）の購入と袋詰め ～ICT機器を活用した『見える化』～

ポップコーン（種）の袋詰めでは、児童が電子はかりを使って、100グラムを正確に量り、袋詰めをしました。重さの単位や測定に関わり、算数の力が養われる活動でもあります。電子はかりにしたことで、ぴったりを意識できるようになってきました。ICT機器のオクリンクを活用して、詰め方の見本動画を何度も見ながら、袋に付けるカードも児童がインターネットを参考に作成しました。



【手作りチラシ】

◇作り方調べとまとめ ～フレーバー決め～

ここでもICT機器を活用し、作り方やフレーバー（味付け）を調べまとめました。何のフレーバーにするか、予算を考えながら、ペアで話し合いながら決めました。

ペア学習で、助け合いながら進めることで、良いところを伝え合ったり、相手のよいところを模倣したりする姿が見られました。販売チラシも、インターネットで調べたものを参考に手作りしました。

◇買い物 ～買い出しと店員さんにインタビュー～

予算を考え、必要な材料をスーパーに買い出しに行きました。事前学習で「税込みの価格を見る」、店員さんへのインタビューは動画撮影させてもらう（メモが苦手な児童がいるため）、動画撮影するときは許可をもらうなど気を付けるポイントをおさえました。

緊張しつつも、必要な材料を買ったり、店員さんにインタビューすることができました。

◇ポップコーンづくり ～おすすめのフレーバーの試食～

ポップコーンづくりでは、これまでの学習を活かし、おすすめのフレーバーのポップコーンを作り、試食と販売会の練習をしました。試食では、自分たちだけでなく、お家の人

(お客様)にも食べてもらうことを意識におくことで、安全面や衛生面での約束を守り、自分の役割を果たそうという責任感も養われました。お家の人に、ほめられたり感想を言ってもらったりしたことで、やる気も一段と上がりました。近づいてきた販売会の練習にも力が入ってきました。

◇販売会 ～できるだけ自分たちでできるように練習 レジアプリの活用～

販売会に向けての練習では、できるだけ自分たちで取り組めるよう店員さん用に接客のセリフ表やレジ係用にレジの手順表を用意して、店員さんやレジ係等の練習をしました。金銭のやりとりも、できるだけ自分たちで取り組めるように、レジ打ちアプリ「即売レジ」を活用しました。金額の計算やお釣りを正確に出せるだけでなく、残数の把握も児童が自分たちで行うことができ、計算が苦手な児童も自信をもってレジ係をできるようになりました。

そして、店員さんの練習では、2回ずつ動画撮影をし、振り返りをし、自己評価と他己評価をしました。動画を見たことで「もっと大きな声で話した方がよかった」と気づき、行動修正しようとする姿が見られるなど、より良い接客を目指しました。

いよいよ本番の先生方への販売会では、動画を撮影する余裕がないほど、お店は大盛況でした。できるだけ自分たちでできるようにセリフ表やレジの手順表、アプリを用意し、練習したことで、一人ひとりが自信をもって取り組むことができました。

活動全体を通して、「自分でできた」「がんばった」と実感できることも多く、やり遂げた満足感はクラスの友だちや先生方からたくさん声をかけられたりほめられたりしたことで、満足感や達成感は大きくなりました。次はどんなお店を開こうかと、とても楽しみにしています。

2 授業で使える・作れる教材の紹介と作品づくり 第1弾

授業で使える・作れる教材の紹介と作品づくりでは、子どもたちでも簡単に作れる作品を紹介していただき、情報交換をしました。松ぼっくりや枝など身近な素材を使った季節感あるかわいい作品も紹介していただきました。

その後、百円ショップで手に入る材料で、「きらきら磁石づくり」をしました。丸い磁石に、ボンドでカラフルなモールやビーズでデコレーションします。基本的には、それぞれのオリジナリティーあふれる楽しい作品になりますが、「大きさごとに使うビーズの数」「かざりの葉っぱを置く位置」を指定する、「できました」と報告するなどの約束も決めて取り組んでいます。同じ活動でも、一人ひとりの実態に応じて、できるようにするための手立てや目標を変えています。その中で、数や位置を意識させて取り組むことで算数的な力や約束を意識する気持ちを育てたり、報告をすることでキャリア教育を意識したり、いろいろなことを学べるようにと願っています。また、子どもたちが使う材料やビーズの入れ物には、ゼリーの入れ物や牛乳パックを切ったものを再利用するなど、使いやすさだけでなく環境にも配慮しています。

授業者の手ごたえや、作業中の児童の様子を聞いたことで、自校の実態に合わせた実践をイメージしやすく、「明日からも実践できる作品づくり」を学ぶことができました。参加した先生方で紹介し合えるのも、しゃべりば研修会のよいところです。

